

## 北の玄関上対馬推進会



7月31日、「北の玄関上対馬推進会」は、上対馬地域の活性化を図ろうと住民と行政が協働で進めているまちづくりについての報告会を行い、上対馬地域の住民を中心に、およそ60人が集まりました。

報告会では、活動報告に加え、雲仙市千々石町で任意団体を立ち上げ地域資源を生かしたまちづくりを行っている松本由利さんや長崎

県建設技術研究センター専務理事、野田浩さんの講演がありました。

「北の玄関上対馬推進会」は、交流人口の拡大、地域滞留、人材の育成、の3つをキーワードにまちづくりに取り組んでいます。今年7月には、自然を生かした体験型観光の推進をテーマに考案した事業が、国土交通省の建設業と地域の元気回復助成事業に採択され、いくつかの事業が試行的に実施されていきます。

このほか、御嶽トレッキングコースマップの韓国版と日本語版作成など、新たな観光ツール開拓なども積極的に行っており、地域の活性化に向けての取り組みが進められています。



## 99歳のお祝い坂本トワさん

8月1日、99歳を迎えた上対馬町網代の坂本トワさんに、長寿をたたえる賞状とお祝い金が大浦副市長から渡され、また家族からは花束が渡されました。

坂本さんは、明治43年生まれで、船大工の夫斉治さんと共に5人の娘を育てあげました。

現在も、身の回りのことはもちろんのこと、畑での野菜栽培や、花壇の手入れなどを行い、毎日を過ごしています。

家族の皆さんは、坂本さんの元気の秘訣を「8人の大家族で毎日食卓を囲み、楽しく食事をとり、間食をしないことなのではないでしょうか」と話していました。



## 平和集会

8月9日、上対馬町の比田勝中学校で平和について考える「長崎原爆の日、平和集会」が行われました。

集会では、学習報道部が、スライドを使い、原爆が落とされた当時の様子を交えながら、どのような被害もたらされたのかを発表したほか、各学年の代表者が、平和学習で感じたことなどを発表しました。

また、集会の最後には、生徒会から、戦争のない平和な世界へしていくためには、まず、自分の身のまわりから見つめ直そうなど、「平和宣言」として4つの目標が出されました。

## ヤクマ祭り

毎年旧暦6月初午の日に五穀豊穰ごこくほうじょうや無病息災むびょうそくさいを願い、石を塔のように積み上げる「ヤクマの塔」は対馬市でも峰町木坂地区と隣の青海地区だけでしかみられません。

今年も7月25日にヤクマ祭りが開催され、地区の住民10名ほどが、石積みに参加しました。高さ1.5メートルのヤクマの塔が完成すると、最後に御幣を塔にさし、拍手をしました。

かつて、ヤクマ祭りは、女人禁制で地域の家が集まって行っていたのですが、現在は後継者不足のため、家々の共同作業として行われています。

片寄りという、地区の協力的なつながりをいまに伝えるヤクマ祭りを後世へ伝えていきたいと地区の方は語っていました。



## バスケットボール講習会

子どもたちにプロのバスケット技術を見てもらいたいと、豊玉町のパールドームで7月25日、26日に講習会が行われました。

今回講師を務めたのは、長崎市出身でバスケットボール日本代表の小磯典子選手。アトランタオリンピックで日本の7位入賞に貢献するなど、名センターとして日本の女子バスケットボールを牽引し続ける選手です。

子どもたちは、バスケットボールの基本的な動作を学び、中学生のチームに小磯選手が加わりミニゲームを行いました。ゲーム中は、小磯選手の最大の武器ともいえるフックシュートを披露する場面もありました。小磯選手は、プロバスケットボール選手として競技へ向かう際の心構えなども子どもたちへ伝えてくれました。

## 臨時市議会

7月30日と31日の2日間、平成21年第5回対馬市議会臨時会が行われました。

冒頭、財部市長が、国の地域医療再生臨時特例交付金を活用し、対馬いづはら病院と、中対馬病院を再編し、300床規模の病院を新設する方針を示しました。

市議会は7月に発生した大雨による被害復旧予算など、5つの議案を審議可決しました。



## 吉田の盆踊り

8月15日、峰町吉田地区では、「えつる」という、飾りをつけた笹を先導に、太鼓やホラ貝、笛などの行列を組んだ盆踊りあまのもろはじんしゃが普光寺と天諸羽神社へ奉納されました。吉田の盆踊りは、独特な節回しの歌に合わせて、ゆっくりとしたリズムで踊られます。

吉田地区に限らず、対馬各地で伝承されてきた盆踊りは、若い人の流出による後継者不足という課題に直面していますが、保存会が立ち上げられ、後世に伝えていく努力が続けられています。

吉田の盆踊りも一時途絶えていたものの、峰町の盆踊り保存事業により、平成4年に吉田地区盆踊り保存会が発足し、復活しました。現在は、吉田地区の18名の会員により、盆踊りが伝承されています。

## 地蔵盆

巖原町中心部では今年も地蔵盆が行われました。このお祭りは、仏教で地蔵菩薩の縁日である毎月24日と、旧暦のお盆期間中を重ねた7月24日に毎年行われているもので、子供たちの安全を願い多くの地蔵が祭られている巖原でも行われています。

地蔵菩薩が子どもたちを守る仏であることから、祭りの主役は子どもたち。子どもたちは街の中に点在するお地蔵様を巡り、手を合せていました。



横町通りでは、ガレージにお地蔵さんを祀り、お参りにきた子どもたちに、朝から600個程用意した昔ながらのお団子を渡しました。あいにくの空模様となり、昨年より人出は少なかった地蔵盆でしたが、夜9時頃まで賑わいました。



横町通りでは、ガレージにお地蔵さんを祀り、お参りにきた子どもたちに、朝から600個程用意した昔ながらのお団子を渡しました。

あいにくの空模様となり、昨年より人出は少なかった地蔵盆でしたが、夜9時頃まで賑わいました。



## 第3回 いさり火山笠まつり

7月25日、「対馬の夏はみつしまから」をキャッチフレーズに第3回「いさり火山笠まつり」が盛大に行われました。

今年で3回目となるこの祭りは、対馬市商工会青年部美津島支部が主催し、地域の活性化を目的に行われています。

住吉神社で、商工会や漁協、祭りの関係者が、この一年の大漁・豊作・商売繁盛を祈願しました。また、祭りのメイン会場美津島町文化会館駐車場では、ウナギのつかみ取りやコーラやビールの早飲み大会、カラ



オケ大会など、子どもから大人まで参加し賑わいました。

漁火山笠行列には、14団体が参加し、鶏鳴幼稚園の園児たちの先導で、雑知地区中心部からメイン会場までを、練り歩きました。

## 久田中の生徒が市長を表敬訪問

8月4日、7月に行われた長崎県中学校総合体育大会、陸上競技に出場した久田中学校の生徒13名が財部市長を表敬訪問しました。

久田中学校は県大会で、男子総合2位という好成績を収め、13名の出場選手の内、2名が九州大会、全国大会へ進みました。

県大会での成果を報告し、九州、全国大会への抱負を聞いた財部市長は、「一生懸命汗をかけた結果だ、対馬という名前をもっと外に伝え、対馬を担って、これから先も走って欲しい」と話しました。

8月8日、9日に熊本県で行われた九州大会に出場した松村晋一郎君は、110mハードル2位、走幅跳5位、早田太一君は、3000m10位の成績で、全国大会にも出場した松村君は、110mハードル予選5位の成績でした。



## 全国離島交流中学生野球大会

8月5日、国土交通大臣杯第2回全国離島交流中学生野球大会に「対馬選抜チーム」が出場しました。大会は島根県隠岐の島で8月6日から9日までの4日間開催され、全国の離島15市町村16チームが参加しました。

交流試合や、元プロ野球選手の村田兆治さんが設立した「まさかりドリームス」のメンバーによる野球教室、親善試合などが行われました。

後日、メンバーは市役所を訪れ、3位入賞の報告をしました。



## ふるさと納税PRチラシ配布

お盆をふるさとで過ごした帰省客のUターンラッシュとなった16日、対馬やまねこ空港などで財部市長はじめ、対馬市役所職員が「ふるさと納税」のPRチラシを配りました。

この日、対馬やまねこ空港を出発する福岡・長崎全便とも満席で、島外からお盆で帰省した方々に向けて「ふるさと納税PRのチラシ」を配布することで、より多くの方々へ寄付促進を図ろうと実施されました。

対馬市では、「がんばれ国境のしま対馬ふるさと応援寄付金」として、平成20年度より制定されています。昨年度は、県外11件、県内1件の、合わせて12件の申し込みがあり、73万5千円の寄付が寄せられました。

## 新・がんばる商店街77選に選定

株式会社まちづくり巖原（対馬市交流センター）が、全国各地で行われている商店街の再生・活性化に向けユニークな取り組みを行っている商店街として経済産業省・中小企業庁の「新・がんばる商店街77選」に選ばれました。平成18年に「がんばる商店街」の第一弾として公表され、今回は、その第二弾として選ばれたものです。

対馬市交流センターは、城下町にふさわしい重厚な外観とショッピングセンターティアラなどの商業施設、図書館などの公共施設が複合した暮らしやすさを提供。朝市やイベントなど積極的に開催し賑わいを創出するなど地域コミュニティへの貢献が評価されました。

浦田代表は「各店舗の自主努力と協調性の結晶が評価され、これからも地域に密着し市民に喜んでいただけるようがんばっていきたい」と話されました。



市長に報告する浦田代表(右)

## 「朝鮮通信使行列振興会」サントリー地域文化賞受賞



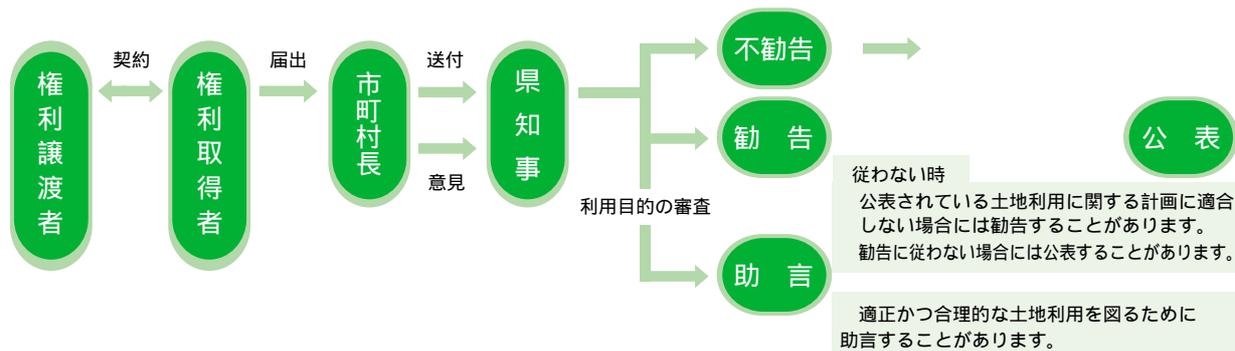
地域の文化向上に貢献した個人・団体に贈られる「サントリー地域文化賞」に、朝鮮通信使行列振興会（会長：永留晃）が選ばれ、8月5日東京で贈呈式がありました。同振興会は1980年に結成され、朝鮮通信使行列を再現し、韓国と文化的な交流を図っている点が評価されました。

# 10月は「土地月間」 国土利用計画法の届出制度とは

国土利用計画法は、土地の投機的取引や地価高騰を抑制するとともに、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、大規模な土地取引について届出制を設けています。

## 事後届出制の手続きの流れ

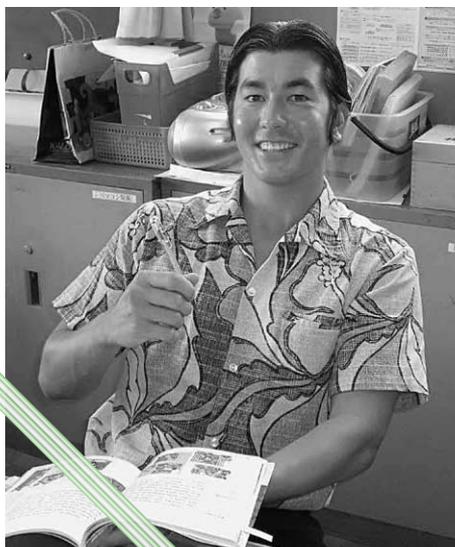
大規模な土地販売などの契約（予約を含む。）をしたときは、買主は、知事あての届出書に必要な書類を添付して、**契約を結んだ日から2週間以内に土地の所在する市町村役場へ届け出下さい。**届出を受けた知事は、利用目的について審査を行い、利用目的が公表された土地利用に関する計画に適合しない場合、3週間以内に、利用目的の変更を勧告し、その是正を求めることがあります。



## 届出の手続

- | Q 大規模な土地とは？ | A | 市街化区域<br>2,000㎡以上 | 以外の都市計画区域<br>5,000㎡以上 | 都市計画区域以外<br>10,000㎡以上 |
|-------------|---|-------------------|-----------------------|-----------------------|
|-------------|---|-------------------|-----------------------|-----------------------|
- Q どんな取引が該当？ A 売買・代物弁済・交換など
- Q 届出は誰が？ A 土地の権利取得者（売買の場合であれば買主）
- Q いつ迄に届出？ A 契約（予約を含む）締結日から2週間以内
- Q 提出する書類は？ A ・届出書 ・売買契約書などの写 ・土地の位置図など。
- Q どこに提出？ A 土地がある市町村の「国土利用計画法」担当課。届出書用紙もあり。
- Q 問い合わせは？ A 対馬市総務企画部地域振興課、各地域活性化センター地域支援課  
又は、長崎県土地対策室 095-895-2041

# Hello!! ALT ALT(英語指導助手) 紹介



8月から新しいALTが着任しました。今後、1年間、管内の小中学生英語指導を行います。みなさんよろしくお願いいたします。

**GIBLER SHANE HIROSHI**  
(ギブラー シェーン ヒロシ)

1980年7月2日(29歳)  
アメリカ ハワイ州

担当 町：美津島 豊玉  
学 歴：ハワイ大学  
趣 味：サーフィン ダイビング 音楽鑑賞  
好きな俳優：ジェシカ アルバ  
対馬の印象：景色が美しく、ゴミが少なくてきれい。  
ひとこと：これから対馬に住みます、フレンドリーにつきあってください。